

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	令和4年3月30日
1 学校目標			
地域の産業経済界をリードし、活躍する人材を育成する			
2 重点項目に係る目標・成果			
目標		成果	
<数値目標> (1) 就職内定率、進学合格率とも100% (2) 全商検定1級3種目以上取得者 45%以上(3年卒業時) (3) 鳥商デパート売上げ1300万円以上、来場者数1万人以上、お客様満足度95%以上		<数値結果> (1) 就職内定率、進学合格率とも100% (2) 全商検定1級3種目以上取得者 65.5%(121名、過去最高) (3) 鳥商デパート(家族限定公開) 売上げ542万円、来場者数1455人 客単価3725円(過去2番目)	
3 実施事業			
【独自事業】 事業名：商業教育推進事業 事業概要：1. 1年ビジネス基礎研修 2. 類型別企業見学研修(LOCUS) 3. 2年研修旅行 4. 鳥商デパート 5. 企業とのコラボによる商品開発(地元企業との連携)			
4 総合所見(成果・評価)			
<p>コロナ禍のため、上記独自事業のうち2と5は実施できなかった。2年研修旅行は、東証一部上場企業、各種上級学校(大学、専門学校等)で研修する2年進路指導の要であり、中止となったことは痛手であった。コロナ禍が終息して10月に実施できることを願っている。商業経済研究部の部活動が実質的にストップしたため、商品開発は進まなかった。</p> <p>数値目標(1)の達成は本校に課せられた使命である。コロナ禍にもかかわらず就職内定率100%を達成できたことは、地域の産業経済界における本校の位置を表している。</p> <p>数値結果(2)1級3種目以上取得者121名は本校史上最高記録(県内最高記録)である。100名を越す高校は全商加盟校約1400校の中で毎年20校前後あるが、そのほとんどが1学年8、9クラスの大規模校である。資格検定週間の設定(年3回)、平日や長期休業中の補習実施等による指導体制が功を奏したと考えられる。新聞に大きく取り上げられた1級全員合格は本校史上初(県内初)、商業経済検定全科目合格者14名は全国8位である。</p> <p>(3)鳥商デパートは鳥商教育の集大成であり、年度当初より生徒経営委員会(生徒社長・副社長、販売・管理・イベント・広報の各部で構成)は感染防止対策を模索し、家族限定公開(2年連続)で開催することができた。客単価は過去最高の前回より僅か16円少ない過去2番目の記録であった。来客者数はコロナ前の15%であったが、混雑がなくじっくりと商品を選ぶことができた等の理由により、客単価は高水準を維持した。</p> <p>コロナ禍は3年目になる。教育活動は依然として大きな制約を受けているが、生徒たちが人間的に成長して進路目標を達成できるように、教員集団の智慧を結集し鳥商教育のより一層のレベルアップを図っていきたい。</p>			